



2009/8/20開催・月例セミナー

事業価値とキャピタル・ストラクチャ

～資本市場の構造変化とファンド資本主義～

セミナーアンケート結果

HCアセットマネジメント株式会社

2009.8.25



HC  
*asset*  
management

# 「セミナーテーマに関するアンケート」結果報告

---

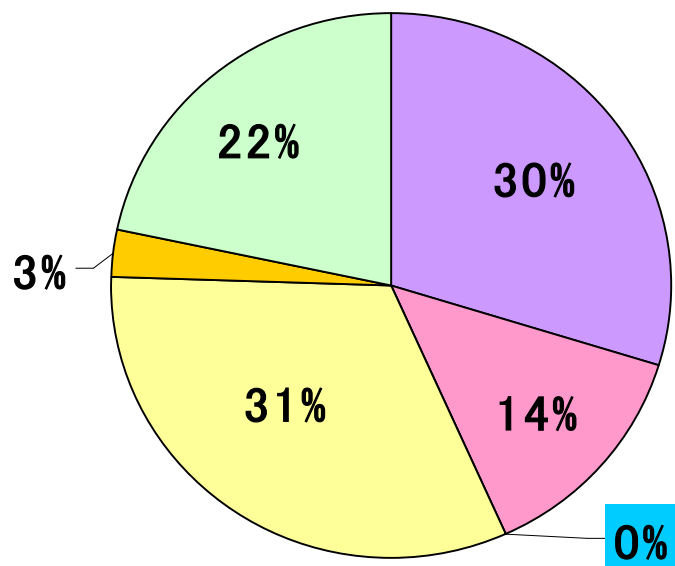
本セミナーにて、子会社株式の上場と施設の流動化の是非についてアンケートを実施。

- ・セミナー参加者人数 計51名
- ・アンケート回答者人数 計37名

**回答率 : 72%**

※小数点第一位以下切捨

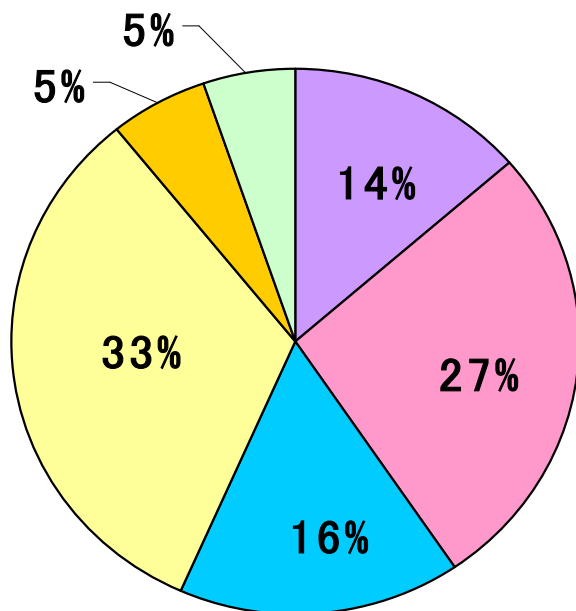
# アンケートにご協力頂いた方の業種別割合



	人数
①	11
②	5
③	0
④	12
⑤	1
⑥	8

- ①年金基金もしくは母体企業の資産運用管理者
- ②金融機関の自己資産運用担当者
- ③大学財団など、その他法人の資産運用担当者
- ④投資運用業者(信託銀行を含む)
- ⑤コンサルタント
- ⑥その他

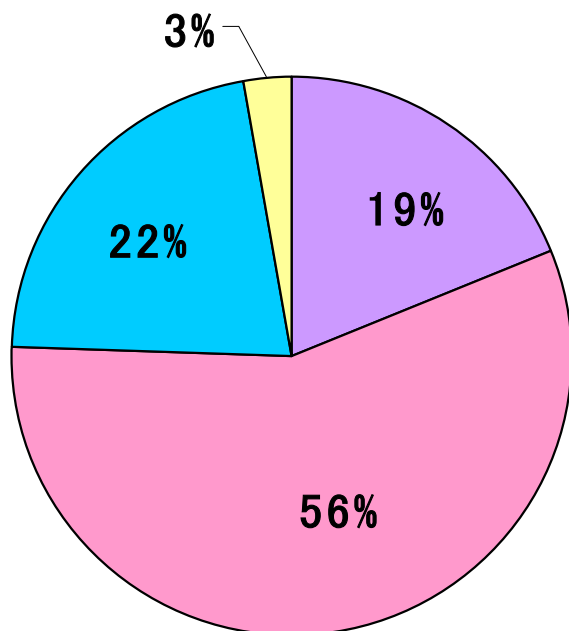
Q1 子会社株式の上場について、どのようにお考えになりますか。一番近いものを、一つだけお選びください。



	人数
①	5
②	10
③	6
④	12
⑤	2
⑥	2

- ①大きな企業グループの中の特定事業部門のリスクに投資できるので、選択肢の拡大という利点がある。
- ②確かに特定リスクの分離という利点はあるが、親会社が大株主として経営支配している限り、ガバナンス等の問題があり、好ましくない。
- ③特定リスクの分離だけが目的ならば、種類株(トラッキング・ストック)で対応すべきである。
- ④子会社株式としての上場ではなくて、会社分割等で、完全にスピン・オフすべきである。
- ⑤企業グループとしての社会的使命は、事業ポートフォリオの効率的管理にあるので、特定リスクの分離という発想そのものが、おかしい。
- ⑥その他

Q2 理論的には、ほとんどの設備について、所有と利用を分離できる以上、設備を独立した投資対象として外部化することが可能です。そのような施設の流動化について、どのように、お考えになりますか。一番近いものを、一つだけお選びください。



	人数
①	7
②	21
③	8
④	1

- ①投資対象の多様化が促進されるという意味で、望ましいことである。
- ②企業経営の効率性を高めるという意味で、望ましいことである。
- ③そもそも、事業資産の管理運用が企業経営の基本機能だから、流動化は望ましくない。
- ④その他